

10. ME と ECI 記録の基礎知識

10-3) 電極のエージングとは

新品の銀皿電極は、肉眼的にみると表面は光沢がありきれいな状態のように見えます。しかし、実際には細かな鋭い溝があり、そのまま使用するとペーストとの接触界面で不規則な局所電流が流れ、スパイク状の雑音や基線の動揺などのアーチファクト発生の原因になります。

そのため通常は使用する数日前に、pin 端子を短絡した状態で①ペーストに練り込む、②生理食塩水に浸す、③飽和食塩水に浸すなどの状態を 24~48 時間以上行って銀皿電極表面をエージング (Aging: 熟成・老化) させる必要があります。エージング後の表面は緩やかな溝状態となります (下図上段参照)。

下図下段に、エージング処理時間 (1夜と2夜) での、通常感度、2倍感度、高感度 (5倍感度) 記録を呈示しました。このテストでは、安定化するには48時間以上じっくりと浸すとより良い表面状態になっています。

